



S.Suzuki

THE HANSHIN JUMP STAKES

第27回 阪神ジャンプステークス (J・GⅢ)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 30,000,000円	12,000,000円	7,500,000円	4,500,000円	3,000,000円
付加賞 315,000円	90,000円	45,000円		



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳58^{kg}、4歳以上60^{kg}、牝馬2^{kg}減、J・GⅠ競走1着馬2^{kg}増、J・GⅡ競走1着馬1^{kg}増

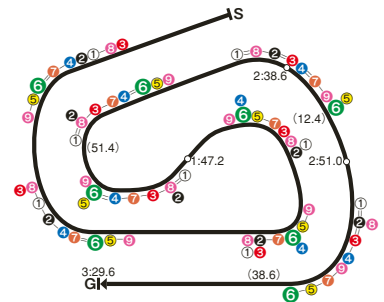
2025.9.20 阪神 曇・良 芝3140m (混合)

順位	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	平均 1ハロン	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師
1	⑥	ネビーイム	牡	7	60	小牧加矢太	3:29.6	2-3-1-1	13.4	536(+8)	2.7②	佐々木晶三(栗東)
2	⑤	ジュンペロシティ	牡	7	61	高田 潤	1/2	2-2-2-2	13.4	468(-2)	1.7①	武 英智(栗東)
3	④	ナリノモンターニユ	牡	8	60	五十嵐雄祐	大差	4-4-5-5	13.5	506(-10)	12.7④	上原博之(美浦)
4	⑦	ティエムマジック	牡	7	60	難波剛健	クビ	5-5-4-3	13.5	528(+12)	53.1⑥	鈴木孝志(栗東)
5	③	ジーククローネ	牝	5	60	草野太郎	クビ	6-6-6-6	13.5	448(+2)	12.8⑤	宮田敬介(美浦)
6	⑨	マテンロウジョイ	牡	5	60	西谷 誠	大差	1-1-3-4	13.6	470(-6)	10.6③	四位洋文(栗東)
7	⑧	トゥラッタッタ	牡	4	60	石神深一	5	7-7-8-7	13.7	466(-6)	85.2⑦	新開幸一(美浦)
8	②	サンマルグレイト	牡	5	60	大江原圭	2	7-7-7-7	13.7	442(+4)	125.4⑧	佐藤吉勝(美浦)
9	①	ポリトナリティー	牝	4	58	上野 翔	大差	9-9-9-9	14.0	414(-6)	131.6⑨	和田雄二(美浦)

単勝⑥270円(2^{kg}増) 複勝⑥110円(2^{kg}増) ⑤110円(1^{kg}増) ④160円(5^{kg}増) 枠連⑤-⑥150円(1^{kg}増)

馬連⑤-⑥160円(1^{kg}増) ワイド⑥-⑤110円(1^{kg}増) ④-⑥290円(6^{kg}増) ④-⑤210円(2^{kg}増)

馬単⑥-⑤390円(2^{kg}増) 3連複④-⑤-⑥390円(1^{kg}増) 3連単⑥-⑤-④1,320円(4^{kg}増)



上り1マイル: 1:42.4 上り: 800^{kg} 600^{kg}
51.0 - 38.6

アラカルト

- ・小牧加矢太騎手は阪神ジャンプS初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算3勝目
- ・佐々木晶三調教師はアップトゥデイトで制した18年に続く阪神ジャンプS3勝目。JRA重賞は本年2勝目、通算53勝目
- ・キズナ産駒はJRA重賞通算45勝目
- ・7歳馬の勝利は24年サベラヴィに続く通算6回目
- ・ネビーイムの馬体重536^{kg}は01年アイディンサマー、18年アップトゥデイトの馬体重530^{kg}を更新する本競走優勝馬の最高馬体重記録
- ・枠連150円、馬連160円、ワイド110円、3連複390円、3連単1,320円は各式別における本競走の最低払戻金額

ネビーイーム *Nevim*

牡 黒鹿毛 2018.2.19生
北海道新ひだか町 木村秀則氏生産
馬主・前田幸貴氏 栗東・佐々木晶三厩舎
馬名意味・預言者(ヘブライ語)

ヴェルヴェットクイーンGB系 F4-k

キズナ 青鹿毛 2010	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA
		ウインドインハーヘアIRE
	キャットクイルCAN 鹿毛 1990	Storm Cat
		Pacific Princess
ヴェルヴェットクイーンGB Velvet Queen 鹿毛 2001	Singspiel 鹿毛 1992	In The Wings
		Glorious Song
	Velvet Moon 鹿毛 1991	Shaadi
		Park Special

5代までのインブリード：Halo S4×M4 Northern Dancer S5×M5×M5

INTERVIEW

木村秀則氏(生産者)

大きな収穫になったと思います

最終障害で少しバランスを崩したのでドキドキしながらレースを見ていましたが、最後まで耐えてくれた姿を見て、本馬が力をつけてくれたことを実感できました。ジューンペロシティに勝てたことは今後に向けて大きな収穫になったと思います。初勝利まで時間がかかった馬ですが、諦めずに本馬を支えてくださった前田オーナーと佐々木調教師には感謝しかありません。

N.Inaba



平地戦ではあと一歩のところまで勝ち上がれなかった(2着4回)本馬は3歳の時の秋に障害へ転向し、翌年3月に初勝利。キャリアを重ねながら着々と地力を強化し、昨年暮れの中山大障害では3着、今春の中山グランドジャンプでは2着に食い込んだ。7月のソレイユジャンプSでオープン3勝目を挙げ、弾みをつけて臨んだこの日は、過去に5回対戦し、3回先着を許していた難敵を撃破。障害入りから4年間かけて掴み取った初の勲章を、さらなる飛躍に繋げたい。

父キズナ

北海道新ひだか町 株式会社ノースヒルズ生産 中央、仏14戦7勝(日本ダービー^{G1}、大阪杯^{G2}、京都新聞杯^{G2}、ニエル賞・仏^{G2})、最優秀3歳牡馬、16年から供用。24年日本リーディングサイヤー、23、24年日本2歳リーディングサイヤー〔代表産駒〕**ジャスティンミラノ**(皐月賞^{G1})、**ソングライン**(安田記念^{G1}2回、ヴィクトリアマイル^{G1})、**アカイト**(エリザベス女王杯^{G1})、**ナチュラライズ**(東京ダービー^{Jpn I}、羽田盃^{Jpn I})、**ディープボンド**(阪神大賞典^{G2}2回、フォワ賞・仏^{G2}、京都新聞杯^{G2}、天皇賞(春)^{G1}2着3回、有馬記念^{G1}2着)、**シックスペンス**(中山記念^{G2}、毎日王冠^{G2}、スプリングS^{G2})、**ハスラットレオン**(ニュージーランドトロフィー^{G2}、ゴドルフィンマイル・首^{G2})、**マルターズディオサ**(チューリップ賞^{G2})、**クイーンズウォーク**(ローズS^{G2})、**アスクワイルドモア**(京都新聞杯^{G2})、**ジューンテイク**(京都新聞杯^{G2})、他に重賞勝ち馬多数

母ヴェルヴェットクイーンGB

仏3戦1勝。05年輸入、20年用途変更

リラックスマイル(06 牝父Dubai Destination)持込 中央13戦0勝、地方1戦0勝

ヴェルヴェットエンジェル Velvet Angel(07 牝父アルカセットUSA)不出走、08年輸出(英)

デボネア(08 牝父アグネスタキオン)中央8戦1勝(京成杯^{G3}2着、弥生賞^{G3}3着、皐月賞^{G1}4着)

カリズマ(09 牝父アドマイヤムーン)中央3戦0勝

リーゼンシー(10 牝父タニノギムレット)中央13戦2勝、15年輸出(英)、ハンティングゴッデス Hunting Goddess(スプリンターズC・印、印チャンピオンズプリンター)の母

チャーマー(11 牝父ストーミングホームGB)中央13戦1勝、地方26戦0勝

クリアスカイ(12 驕父ディーブスカイ)中央3戦0勝、地方38戦7勝

ゴールデンゲート(13 牝父ステイゴールド)中央4戦0勝、地方13戦0勝

リリックドラマ(14 牝父ステイゴールド)中央28戦4勝(トルマリンS)

ミヤコキング(15 牝父キングズベストUSA)中央2戦0勝

サーブルクイーン(16 牝父キングズベストUSA)地方8戦0勝

ネビーイーム 本馬(18 牝父キズナ)中央10戦0勝、障害22戦5勝(阪神ジャンプS^{J・G2}、中山グランドジャンプ^{J・G1}2着、中山大障害^{J・G1}3着、阪神スプリングジャンプ^{J・G2}3着) 獲得総賞金194,479,000円

ラブアゲイン(20 牝父マジェスティックウォリアーUSA)不出走

※17(不受胎)、19(流産)、21(前年種付せず)

難敵を破り初の勲章を掴み取る

ひと桁の単勝オッズを記録した馬は障害重賞5勝の実績を誇る2年前の覇者ジューンペロシティ(1・7倍)と、タイトルの手前で足踏みを重ねてきたネビーイーム(2・7倍)だけ。今年の阪神ジャンプSは直接対戦成績も「ほぼ互角」の7歳両馬が双璧と目された。3着以下を大差に引き離し、激しく火花を散らした2頭。一騎打ちの軍配はネビーイームにあがった。

昨年暮れの未勝利戦を9馬身差で圧勝、阪神スプリングジャンプ(7着)を挟み、6月のオープン戦を4馬身差で逃げ切ったマテンロウジョイが、一角崩しの筆頭格と目されたこの日も先手を奪取。ジューンペロシティは2番手

に控え、ネビーイームの小牧加矢太騎手はその直後に腰を落ち着ける。序盤に大きく水を開けられた4番手以下の各馬は、スタンド前の連続障害で前に接近。4番人気の支持を集めたナリノモンターニユもネビーイームの外にポジションを上げた。

中盤のタスキコースを経て順回りの向正面に入ると、上位人気の3頭が再び後続を大きく引き離したものの、厳しくマークされたマテンロウジョイは3コーナー手前で失速。先に仕掛けられたネビーイームが先頭に立ち、ジューンペロシティに3、4馬身差をつけて4コーナーを回る。最終障害の着地時に躓き、スピードが鈍ったところへ相手手が逆襲。勝負の行方はもつれたが、態勢を立て直されたネビーイームはゴール前でもうひと伸びして、ジューンペロシティの反撃を凌ぎ切った。

平地戦ではあと一歩のところまで勝ち上がれなかった(2着4回)本馬は3歳の時の秋に障害へ転向し、翌年3月に初勝利。キャリアを重ねながら着々と地力を強化し、昨年暮れの中山大障害では3着、今春の中山グランドジャンプでは2着に食い込んだ。7月のソレイユジャンプSでオープン3勝目を挙げ、弾みをつけて臨んだこの日は、過去に5回対戦し、3回先着を許していた難敵を撃破。障害入りから4年間かけて掴み取った初の勲章を、さらなる飛躍に繋げたい。